

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SOU NEXT大謝名				公表日	R8年 5月 22日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	各場所にて目的を分けて使っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	加配もつけれるぐらいの人員配置をしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	勝手に入ってはいけない場所には子どもの目線にマークを貼っている。	課題点、手すりをつける、段差を減らす。 テーブルの角など怪我にならないよう補強する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃をかかさず、衛生よくしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	部屋数が多いため課題や遊び、人間関係に応じたフィールドが展開できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	管理者やリーダーとPDCAサイクルについて話をする機会あり。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者の声があれば、上司がすぐに共有し改善策を出し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎朝朝礼を行い、スタッフ同士のコミュニケーションをとっている。	職員の話聞く機会を増やしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	ミイダスやアンケートなどで改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎週研修がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	毎月支援プログラムを公式サイトに公開しており、保護者にも周知している。	スタッフにどのように周知しているのかを教えてください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	児発管が言語聴覚士のため、専門的にアセスメントを実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	スタッフで児童について話し合う機会が明確に設定されていて、話し合いの内容も児発管が論点がずれないように統括しながら児童が将来的に社会生活を送れることを目標とし話ができている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	いつでも確認できるように電子アプリで管理しており、計画が更新された場合は、口頭で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	HUGシステムを使用している	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	すべての項目を加味し設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	スタッフ全体で話し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	ある程度固定化しないようにしているが、スポーツの日などは固定されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別で行う課題と集団で行う課題、どちらも取り入れてはいるが、「児童の状況に応じて」という面に関してはまだ改善の余地がある。個別療育とまではいかなくとも児童一人ひとりの現在のニーズに合わせた課題設定が今後必要。	スタッフに細かく周知していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼で必ず細かな共有を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	その日では行えないが、記録としてチャットに残して、翌日に共有できるようにしている。	終礼の時間が作れるように調整していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	利用ごとに支援の記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心としておこなわれている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を総合的に組み合わせさせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	独自のポイント制度や自主的に活動を決められる制度を追加した	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者や担当スタッフが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		地域の関係機関との繋がりは弱いように感じるため今後の課題と考える。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	下校時間やお休みなど、常に保護者と確認をLINEでとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	会社でも事業所の移動があった場合などは事業所への引き継ぎが行われており連絡、共有の体制が整っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	移行支援もスムーズに行えるよう自社の連携を促している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		必要に応じる前に、担当者など確認するなど一度訪問する機会を設ける
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	学童クラブの子たちと地域の公民館主催の映画を見たり、イベントに参加したりしている。	地域の関係機関との繋がりは弱いように感じるため今後の課題と考える。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	児発管が参加している	児発管のみが参加しているため、今後はスタッフも一緒に参加できるようにしていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時に本日の様子や今の困り事などを話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	専門職の方がメインで実施する場合はある	研修などができていないため、ニーズを確認して実施できるようにしていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	児発管が主に行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	家族支援の際に保護者の話を聞くことで困り感を聞き出し、専門的な知識をもつ児発管を中心にアプローチを検討、提案する場が設けられている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	家族支援という保護者の困り感を聞く場面が明確にある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	3	保護者との児童の交流、保護者同士の交流につながるような課題を設定し、実行できている。	1年に1度のペースで開催しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	返答はすぐに行えるように、上司などと連携をとって対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	ブログ、インスタなど保護者の目に届くSNSツールで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	SNSに載せてほしくない家庭には事前に確認をとり、掲載しないことを徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	ハロウィンや、仕事体験などで近隣の方に協力してもらうことがある	地域の関係機関との繋がりは弱いように感じるため今後の課題と考える。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に行うよう指示されている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCPの研修は社内でZOOMで開かれそこで受講しているが、実践を交えた訓練等を行っていないため、今後検討していくべき課題と考える。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	対応マニュアルが作成されており説明もなされている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者に確認して行われている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		

